

全日本博物館学会

THE MUSEOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

2025年度全日本博物館学会賞 受賞者講演会のお知らせ

講師 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課長

佐々木秀彦氏

「文化的コモンズから考える ミュージアムの機能拡張と統治」

日時

2025年11月24日(月・振替休日)
19:00~20:30 (ZOOM開催)

【講師ご経歴】

1994年 東京都江戸東京博物館学芸員
2002年 江戸東京たてもの園学芸員
2006年 東京都歴史文化財団事務局企画広報係次席
2009年 東京都美術館学芸員
2015年 東京都歴史文化財団事務局企画担当課長

【主なご著書】

(単著)
『コミュニティー・ミュージアムへ』 岩波書店 2013年
『文化的コモンズ—文化施設がつくる交響圏』
みすず書房 2024年
(分担執筆)
『博物館の収蔵庫問題と新たなコレクション管理』
雄山閣 2024年
『改正博物館法で博物館はどうなる』 同成社 2025年



2025年度学会賞授与式
(半田会長より表彰状の授与〔於：國學院大學〕)

本テーマに興味のある方は、
どなたでもご参加いただけます。

★申し込み方法

Googleformにて受付

<https://forms.gle/nznmFZ1uKZTU6QFv9>

*こちらのQRコードからもお申込み
いただけます



★定員：先着80名様

当日のZOOM情報を2025年11月23日
(日)までにメールでご案内いたします。

★申込締切

2025年11月20日(木)まで。
ただし、定員になり次第締切となります。

★お問い合わせ先

全日本博物館学会行事担当
zenpakugyoji@gmail.com

受賞著作：『文化的コモンズ—文化施設がつくる交響圏』

(みすず書房・2024年3月31日発行)

概要 成熟期にあるこれからの日本では、博物館や美術館はもとより、図書館、劇場・ホール、公民館、福祉施設、教育施設、アートプロジェクトなどの文化的な営みや文化資源の集積が、地域づくりの重要な役割を果たすのではないだろうか。文化活動が地域に新たな価値をもたらし、住民の自治を育み、地域づくりの基盤をなすことが期待される。その流れにあって、近年、文化施設の総体を「文化的コモンズ」と捉え、議論をする機運が生まれている。この概念が分野の境界を越えて人びとを結びつけ、地域の活動に新たな価値をもたらしている。

本書は、日本の文化施設の成り立ちをふりかえり、役割や意義を論述するとともに、過去の例に学び、成功例を示し、新たなパースペクティブを得ることをめざしている。文化施設を拠点に形成される「文化的コモンズ」の姿を本格的に論じる、初の試論である。